

周術期感染対策セミナー 開催報告

感染症への関心が高まる昨今、麻酔・集中治療の領域においても、ICD（Infection Control Doctor）の資格を取得される先生が増えています。この度、広島大学病院 感染症科教授 大毛宏喜先生をお迎えして、「サイレントパンデミック時代の環境整備 –紫外線技術の最新のエビデンス–」と題してご講演を賜りました。2022年12月3日土曜日に当院中央手術棟1階カンファレンス室にて、遠隔配信を併用して実施致しました。今後当院でも導入予定のライトストライク（キセノンパルス方式紫外線照射ロボット；テルモ株式会社）の使用方法・効果を含め、臨床医療に役立つエッセンスを非常にわかりやすくご教示いただきました。当教室の医局員と研修医は現地参加しておりましたが、感染対策室の医師や看護師、認定看護師の研修生も遠隔でご視聴下さいました。

